

人 輝く・安芸高田



議会だより

今回の題字は、^{ふく}福^だ田^{こう}皓^{へい}平くん（向原中学校3年生）です。

^{たがざる}高猿神楽ジュニア（吉田）
土師ダムのどごえ公園



3月定例会.....2~3
予算審査.....4~8

開かれた議会をめざして
シリーズ**議会改革**.....19

一問一答
14人が**市政を問う**.....12~18

あんなこんな
地域のかがやき.....24

第33号

2012(平成24)年5月1日発行

可決

事業展開「選択と集中」

万円 (対前年度 11億5010万円増)

万円 (対前年度 9億2897万円増)

3月定例会

3月定例会を、2月22日～3月14日までの会期で開催しました。

24年度予算（一般会計・特別会計等）及び23年度補正予算（一般会計・特別会計等）25議案は、予算常任委員会へ付託し、すべて原案のとおり可決しました。（予算審査は4～8ページに掲載）

各常任委員会へ付託した条例等6議案は、すべて原案のとおり可決しました。（各常任委員会の審査は9～11ページに掲載）

一般質問では、14人が市政を問いました。（12～18ページに掲載）



（平成24年度 主要事業・新規事業など）

- ・葬斎場施設整備事業（12億6935万円）
葬斎場整備にかかる建設本体工事に着手。
- ・生涯学習センター整備事業（8億4046万円）
向原町の生涯学習・文化活動の拠点を確保するため、生涯学習センターの建築本体工事に着手。
- ・未来創造事業（9117万円）
伝統芸能の神楽と毛利元就を中心とした地域活性化に向けた取り組みの実施。
- ・土師ダム周辺整備事業（3億8946万円）
老朽化した八千代サイクリングターミナルの本体工事及び周辺整備。
- ・光ネットワーク整備事業（6億円）
光通信を利用したブロードバンド環境の整備工事に着手。
- ・再生可能エネルギー調査研究事業（420万円）
本市の自然豊かな環境を生かした「再生可能エネルギー」の導入に向けた調査・研究の実施。
- ・母子家庭高等技術訓練促進事業（87万円）
母子家庭の経済的な自立を支援するため、母親が資格を取得する間の生活費軽減一時金を支給。
- ・介護老人保健施設整備補助事業（1億3343万円）
八千代病院が介護療養病床を介護老人保健施設に転換するための施設整備に対する助成。
- ・子育て・婚活住宅新築等補助金（2180万円）
新規定住する子育て世帯・婚活世帯に対して、住宅新築・定住促進団地購入等の補助。

24年度予算

将来を見据えた実のある

一般会計 **235億4400**
特別会計など **116億1256**

■諮問（5件）

○人権擁護委員の推薦同意

津村 秀荘 さん

高宮町佐々部

辻駒 康博 さん

高宮町川根

佐藤 正彦 さん

向原町有留

山縣 紀子 さん

高宮町原田

毛利 宣生 さん

美土里町生田

同意

■討論

議案第33号

平成24年度安芸高田市一般会計予算

市一般会計予算

■反対討論
なし

■賛成

入本 「選択と集中」に徹した予算になっている。

前重 「市民の願いや思い」がしっかりと盛り込まれた予算と評価する。



（付議された案件）

○議案第1号

安芸高田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第6号

安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

○議案第7号

過疎地域自立促進計画の変更について

○議案第10号

安芸高田市介護保険条例の一部を改正する条例

○議案第11号

安芸高田市吉田老人福祉センター条例の一部を改正する条例

○議案第17号

安芸高田市定住対策支援基金条例

○議案第21号

平成23年度 安芸高田市一般会計補正予算（第5号）

○議案第22号

議案第31号 平成23年度 安芸高田市特別会計補正予算（10特別会計）

○議案第32号

平成23年度 安芸高田市水道事業会計補正予算（第3号）

○議案第33号

平成24年度 安芸高田市一般会計予算

○議案第34号

議案第44号 平成24年度 安芸高田市特別会計予算（11特別会計）

○議案第45号

平成24年度 安芸高田市水道事業会計予算

普通建設事業費 43億4899万円

(対前年度 7億1345万円増)

葬斎場施設に向けて (12億6935万円)

予算常任委員会

2月22日の本会議において審査を付託されました24年度一般会計・特別会計予算13議案について、3月6日～8日の3日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 赤川三郎
副委員長 水戸眞悟
委員 議長を除く全議員

■一般会計■

□総務部

宍戸 自主防災組織の組織率は。

行森危機管理室長

組織率概ね70%、補助制度の見直しも検討する。

青原・先川 防火水槽の今後の設置計画は。国県への要望は。

行森危機管理室長

要望箇所について地元消防団と協議の



葬斎場造成地 (吉田町多治比)

上計画的に推進する。機会あるごとに配分枠の要望をしている。

秋田 高齢ドライバー

1運転免許返納支援事業の状況は。

行森危機管理室長

3月現在65名であり返納率は県下で1番である。

山根 地域小規模集会所整備要望の方法

と補助対象は。

児玉財産管理課長

地域の団体からの整備要望を受け付ける。補助対象は新築並びに改修。

児玉 文書管理の効果

果は。

杉安総務課長

公文書の管理に関する条例により保存年数などの整理を行い、書庫保管など庁舎内管理を適切に行う。



未来創造事業 神楽東京公演

□企画振興部

今村 事務事業評価

や行政システムの情報開示は。

西岡行政経営課長

職員の意識改革を最優先とし、市民に行政システムのあり方を公表していく。

亀岡・山根 観光協会設立の構想は。

竹本企画振興部長

総合的な観光窓口の必要性にかんがみ

て、商工会等と連携・調整をする。

金行 未来創造事業

の経済効果は。

竹本企画振興部長

観光消費額の増加や定住促進効果などを総合的に検証する。

今村 まちづくり支援

員の効果は。

栗田まちづくり支援

課長 振興会組織などの事務処理支援や

光ネットワーク整備事業費 6億円

(総事業費 40億円)

25年度完成を目指す！



市民の安全・安心を担う救急車両

祭りイベントの支援、資料整理などの支援。

山根 まちづくり委員会として市政への提言は。

粟田まちづくり支援課長 ごみの減量化対策や地域防災対策などについて提言があった。

消防本部

前重 救急車更新後の旧車両は。また市内に放射線取扱事業所は。

杉田消防課長 救急予備車両として活用。

久保消防署長 湧永製薬の研究所があるが微量で法的届け出の必要のない放射線量。

市民部

青原・今村 ワンストップ総合窓口事業の支所との連携は。またその効果は。

叶丸総合窓口課長 本庁支所間の高速ファクシミリの活用により待ち時間の短縮、繁忙時のミス防止、超過勤務手当の削減効果など。

児玉 住民票などの自動交付機の設定は。
叶丸総合窓口課長 住民基本台帳カードなど本人特定手段に難がある。維持管理費などの経費に対する効果が望めない。

前川 自動車騒音調査委託料は。
大田市民生活係長 県移譲事務で、5区間を指定して調査。

山本・青原 住宅貸付金の回収手段は。また弁護士委託料は。



光ネット整備事業に着手

原田人権多文化共生推進係長 個人面接や顧問弁護士を介して督促。弁護士委託料は成功報酬。

今村 女性会への補助金の今後の方針は。
秋重人権多文化共生推進室室長補佐 市女性会連合会へ一括補助している。

8単組会員1000人、男女共同参画の観点から今後も継続。

福祉保健部

亀岡 原爆友の会補助金の現状は。また市内一本化の方向性は。

武岡福祉保健部長 市内3地区で自主的活動が継続されている。被爆体験を後世に語り継ぐ観点からも支援を検討したい。

土師ダム周辺整備 (3億8946万円)

八千代サイクリングターミナル建て替えなど

先川 重度障害者に対する外出支援策は、**毛利障害者福祉係長** タクシーチケットの交付。1月末現在で391名29、732枚交付。協力申請のない会社が1社ある。

青原 民生児童委員報酬の増額は。**武岡福祉保健部長** 活動の

複雑化は認識しており、ボランティアに頼っている部分も多い。活動実態を調査し検討する。



建て替えられる八千代サイクリングターミナル

児玉 生活保護費の不正受給対策は。**佐々木生活福祉係長** 就労申請やアルバイト収入などの未申告の例がある。ケースワーカーによる訪問面談を実施し、厳格化する。

水戸・前重・児玉 放課後児童クラブの待機者の状況、母子父子家庭を優先しては。**可愛川子育て支援課長** 3施設で26名の待機児童数となっている。施設整備も協議中であり、優先順位も今後の検討課題。

穴戸 特別養護老人ホームの優先順位は。**岩崎高齢者福祉課長** 入所者と施設との契約となり、介護度の高い方から優先。

山根 プール健康教室の利用者は。**中元保健医療課長** 吉田温水プールでは129回436人、たかみや湯の森では112回329人の実績。

□教育委員会

児玉 通学費補助について市内全校の平準化は。**佐藤教育長** 適正配置準備委員会の中で協議し早い機会に統一見解を出す。

山本 旧給食センターの有効利用は。**佐々木教育総務課長** 八千代、美土里、高宮については地域



活用がまれる旧給食センター（美土里）

活用の要望に応えない。

穴戸・山根 教育介助員の配置基準は。また専門的研修は。**佐藤教育長・大下学校教育推進室長** 学校現場の実態把握により配置基準を明確にし、説明責任も明らかにする。教育介助員研修は年2回実施。

活用がまれる旧給食センター（美土里）

生涯学習センター整備 (8億4046万円)

向原町での文化活動拠点の確保



増加しているヌートリア

□産業振興部

秋田 有害鳥獣捕獲計画頭数は。

猪掛地域営農課長

シカ2、000頭、イノシシ1、400頭他カラス、ヌートリアなどで詳細計画は有害鳥獣捕獲対策協議会で協議。

山根 家畜診療所負担金額の算定基礎は。

清水産業振興部長

飼養家畜頭数が算定基礎となり協議会で決定された額。

先川 暗渠排水対策費の200万円は。

猪掛地域営農課長

野菜生産振興にかかる暗渠排水対策経費で補助率45%。年数件の申請がある。

前重 東京アンテナショップ協議会負担金。

小田商工観光課長

県が東京銀座に設置するアンテナショップで物販や各種イベントで県と連携するための負担金20万円。

今村 観光協会設立のめどは。

小田商工観光課長

ホームページ開設や事務所改修など準備会で進め、24年度内で方向性を示す。

□建設部

金行 小原地域において救急車の通行困難な市道があるが。

西原建設課長

承知しているので維持的な改善から対処する。

大下 市道のオーバーレイの計画的実施は。

西原建設課長

市道劣化は承知している。国費利用で順次検討したい。

山本 国道沿線活性化調査とは。

西原建設課長

可部バイパスの大林区や尾道松江線の開通などに合わせて国道54号の魅力を高める



可部バイパス (大林工区)

道の駅についての調査。

■特別会計■

□国民健康保険

亀岡 県下一円とした国保会計へ向けた動きがあるか。

武岡福祉保健部長

県議会でも答弁があったが全国的な広域化の流れの中で今後医療制度改革検討会議がもたれる。

□農業集落排水事業

塚本 台帳作成業務委託料の積算基準は。

上本上下水道課特命担当課長

管路延長などの台帳整備をするもので、下水道協会の示す歩掛により積算。

可決

実施事業の精算見込みなどにより 一般会計総額 245億1558万円

23年度補正予算

■一般会計

□総務部

金行 防犯灯LED化の現状は。

行森危機管理室長

23年度末70%、24年度で100%の見込み。

先川 防火水槽何基分の補正額か。

行森危機管理室長

4基分。

穴戸 防災マップは全戸配布か。

沖野総務部長 全戸配布の段階でないが今後検討する。

□企画振興部

秋田 デジ対策費の減額は。

竹本企画振興部長

地元協議の調整遅れによるもの。

塚本 防災マップの作成手順は。

沖野総務部長 土砂災害をもとに修正していく。

秋田 デジ難視聴地域の解消は。

広瀬情報政策課長

残り10件で24年度解消に努める。

前重 ふるさと応援寄付金の増額は。

土井経営管理係長

市の知名度とともに納税額が増加したものの。

水戸 生活路線バス補助対象会社は。

山平政策企画課長

備北交通と北広島町の2社。

児玉 葬斎場関係補助金は。

山平政策企画課長

周辺3地域の振興策を支援する基金に充当。

□市民部

前重 太陽光発電システム促進事業の減額は。

久保市民生活課長

県補助事業予定100件、実績64件の

差額を減額。

先川 多文化共生推進補助金の減額は、PR不足によるもの

では。

新川市民部長

啓発、広報は重ねたが事業目的に沿わない行事があった。

秋田 河川水質検査費の減額は。

久保市民生活課長

入札結果により安価になったものの減額。

□福祉保健部

穴戸・山根 インフルエンザ予防接種委託料、子育て支援センター運営費委託料の減額は。

中元保健医療課長

可愛川子育て支援課長 当初計画に対し事業実績の減に伴う減額。

□産業振興部

山本 林業振興費の減額の主たる要因は。

近永農林水産課長 森林法の改正により切り捨て間伐が補助対象外となり事業量が減ったため。

秋田 ひろしまの森づくり事業費の減額は。

近永農林水産課長 地元協定を進めながら実施したが目標達成ができなかった。

石飛 地籍調査事業の積極的な推進は。

浜田市長

境界の明確でない筆界未定部分が多くて苦慮している。地元地権者の組織作りなど一体的な取り組みを重ねたい。

青原

圃場整備事業にかかる補償費は。

近永農林水産課長

下甲立、桂地区にかかるNTT、中国電力柱移転、水道管移設にかかる経費。

水戸

林道小谷線の採択は。

近永農林水産課長

23年度県の採択にならなかったため新年度再度要望していく。

穴戸・秋田 畜産振興事業費の機械導入は。事業費財源は。

猪掛地域営農課長

稲わら収集の自給率を高めるためのロールペーラーの導入経費。対象は農事法人で、単独県費補助事業。

□教育委員会

山本 国際交流に関する経費の減額は。

溝下生涯学習課長

東日本大震災の影響などでシンガポールからの訪問団が中止となったことなどが主たる要因。

総務企画常任委員会

3月定例会会で付託された議案3件、所管事務調査2件を、2月29日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について

○過疎地域自立促進計画の変更について

委員長 秋田雅朝
副委員長 前重昌敬
委員 先川和幸
山本 優
赤川三郎
今村義照
藤井昌之

非常勤保育士の月額報酬2千円減額は「通勤手当相当分を費用弁償として支給」

条例の一部改正概要

新規に計上する委員の制定

- ・学校統合準備委員
- ・多文化共生相談員
- ・多文化共生推進員
- ・多文化共生翻訳・通訳員
- ・多文化共生推進会議委員
- ・樋門等操作員

■質疑

前重 民営化される向原こぼと園への雇用を希望する非常勤保育士は現在何名か。
沖野総務部長 現在10名程度応募があり、現在5名程度の内定者を予定。

先川 5名程度の内定者の給与は。

沖野総務部長 給与は基本給、各種手当を含む月額172,000円相当。

藤井 非常勤特別職の報酬額について、資格が必要なものとそうでないものなど、基準を定めるべきでは。

浜田市長 合併来そのままきているので今後、職種を絞って体系的に決めていく。

山本 日額報酬委員について、会議時間だけのものについては、時間給と旅費で支給するべきでは。

沖野総務部長 日額報酬委員については、各種審議会の委員などが多く、時間給と旅費というのとはなじまないと考えるが、今後の検討課題としたい。

藤井 樋門等の操作員報酬は、予算の範囲内となっているが。

増田管理課長 市が国、県から樋門操作の委託を受けており、その中に報酬の額が決まっている。市は、樋門操作員と委託契

約している。年9回の点検を実施。報酬は、樋門の大きさ、操作の時間による。



民設・民営で新たに移設整備予定の「向原こぼと園」

文教厚生常任委員会

3月定例会で付託された議案2件を、3月2日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○介護保険条例の一部を改正する条例

○吉田老人福祉センター条例の一部を改正する条例

委員長 青原敏治
副委員長 穴戸邦夫
委員 児玉史則
水戸眞悟
山根温子
金行哲昭
塚本 近

介護保険条例の一部改正

～支え助け合うために～



小規模多機能ホーム
ふあみりい安芸高田

■概要

「高齢化率の上昇と被保険者の増加」「施設サービス等の給付費の増加」等による介護保険料の増額を定めるものです。

■質疑

山根 基本額の増加は当面の措置か。
中野介護保険係長 新たに稼働する施設に対し、サービスに要する経費が必要で、今後も上昇の要因となる。

山根 施設入所待機者が3ケタと聞いているが。

岩崎高齢者福祉課長 特別養護老人ホームの待機者は155人で、今回の整備でほぼ解消の見込み。

吉田老人福祉センター条例の一部改正

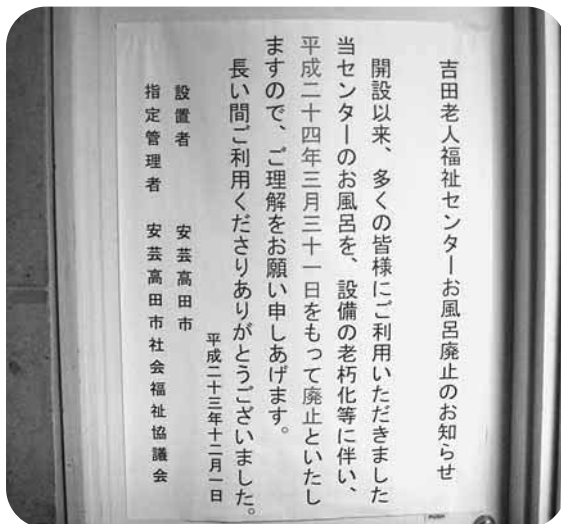
～入浴事業の廃止 利用者激減、やむなく～

■概要

ボイラー施設や浴室の老朽化も進んでおり、今後、安定的な入浴事業を継続することは困難と判断し、3月31日をもって入浴事業を廃止するものです。

■質疑

なし



吉田老人福祉センターお風呂廃止のお知らせ
開設以来、多くの皆様にご利用いただきました当センターのお風呂を、設備の老朽化等に伴い、平成二十四年三月三十一日をもって廃止いたしますので、ご理解をお願い申し上げます。
平成二十三年十二月一日
設置者 安芸高田市
指定管理者 安芸高田市社会福祉協議会

安芸高田市 定住対策支援 基金条例

産業建設常任委員会

3月定例会で付託された議案1件、要望1件、陳情1件を3月5日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり採択しました。

(主な審査)

○安芸高田市定住対策支援基金条例

委員長 前川正昭
副委員長 石飛慶久
委員 大下正幸
入本和男
亀岡 等

概要

平成24年度より創設予定の「子育て・婚活住宅新築等補助金」や「子育て・婚活定住促進団地購入補助金」として、定住対策のための事業に要する資金に充てるため、基金条例を制定するものであり、この基金の活用により、定住の支援・地域の活性化を図るものです。

入本 補助制度の具体的な内容は。

青山住宅政策課長

「子育て・婚活住宅新築等補助金」や「子育て・婚活定住促進団地購入補助金」この2点を、補助金として支出する。

河野建設部長 補助金の具体的なものについて、予算委員会で説明する。

亀岡 補助金以外の定住促進推進の考えは。

河野建設部長 まず、市所有の子育て・婚活定住促進団地の売却をPRしたい。将来的には、民間と協力体制による定住促進対策を図りたい。

施策による波及効果として市内業者の活性化、経済活性化となるよう支援していきたい。

質疑

石飛 定住対策支援基金の財源は。

河野建設部長 市営住宅用地や分譲団地の売払い収益を積み立てし、財源に充てる。

陳情・要望

◎「電気設備工事の分離発注を求める陳情書」

陳情者 社団法人 広島電業協会

趣旨 建築工事等において、電気工事と建築工事を別に分離発注していただきたい。

【審査の経過】

当市では、電気設備工事の分離発注を採用しており、陳情の趣旨を採択した。

◎「安心・安全、公共工事を推進するため、地方建設業界の存続・発展と国土交通省の事務所・出張所及びダム管理所等の拡充・存続を求める意見書」

要望者 国土交通労働組合、国土交通省管理職ユニオン組合

- 要旨
- 1、地方の建設業界がこれ以上、衰退することなく存続し発展する配慮した施策をおこなうこと。
 - 2、地方整備局の事務所・出張所・ダム管理所等の廃止は行わないこと。
 - 3、公共事業の予算配分等について、生活関連の河川、道路を含めて、整備、維持管理に重点的に配分すること。ダム等についても、そのような体制をしていただきたい。
 - 4、地方に国の行うことについては、地方に移譲することなく、国の責任において行う。

【審査の経過】

すでに12月定例会において「地方における社会資本整備の促進を求める意見書」として、同等の意見書を提出しているため、採択をしたが、国の機関へは意見書の提出はしない。

市政を問う

学校給食

食育の推進は

教育長／食育推進リーダーを位置づけている



宍戸 邦夫 (無所属)

宍戸 食育推進の取り組みは。地場農産物の活用は。
教育長 食育は、人間が生きていく上での基本であり、知育、徳育、体育の基礎となるもの。各学校において、食育推進リー

ダーを位置づけ、食育の推進を図っている。また、地域食や行事食などを積極的に導入して、地産地消の推進と食文化の継承を推進したい。

宍戸 自治（まちづくり）基本条例制定は。

市長 自助・共助・公助の精神を踏まえた住民・行政の役割と責務、協働のまちづくりを支える施策や制度の体系など、住民自治の拡充について研究を進めている。条例の制定については、今後の課題。



食育の推進強化

未来創造

市民全員で未来を描く環境は

市長／機運の高まりに向けて努力



山根 温子 (無所属)

方のホスピタリティあふれる行動で、旅人も救われている状況がある。地域の協力をしっかりとつないだ観光プロデュースは。

山根 農業の再構築に向けては。

市長 農地の集積や担い手の育成などを含め、雇用の場としての農業に再構築。

山根 持続可能な農業に向けた農業所得の安定化は。

市長 耕畜連携や観光と結びつけた販路拡大・ブランド開発を行う。

山根 玄関口となる駅周辺では、地域の

子どもたちの描く未来の安芸高田は？



小田東小学校児童の作品

市長 観光客への情報発信や受け入れ態勢の整備が必要不可欠。観光協会設立準備中であり、これを核として進めていく。

山根 子どもたちの描く未来像など市民で市の未来を描く環境づくりは。

市長 機運を高めるよう努力していく。

一問一答

14人が

今村 後期事業執行をどのように進めるのか。
市長 リーディングプランに基づき、昨年三月に策定した後期計画の中で、ハード事業は継続事業の早期完成を目指し、



今村 義照
(あきの会)

総合計画

後期の事業執行は

**市長／継続事業の早期完成
新事業の総合的展開**

ソフト事業は本市の持つ「強み」を有効的に生かした諸事業を総合的に進め、私のマニフェストである新交通システムや市民総ヘルパー構想などを盛り込んだ事業の展開を図ってきたい。

今村 行政評価システムをどのように活かすのか。
市長 基本的には、ローリング作業の微調整に使い、また今回の東日本大震災の影響によりエネルギー政策、環境政策などを加味し生かしていきたい。

今村 行政評価には事業及び施策上の目標を示し、市政への説明をすべきでは。
市長 市民への方向性を示す材料とし、啓発を図りたい。

柔道

安全指導に万全を

教育長／指導力の向上に努める



亀岡 等
(市民クラブ)

亀岡 国民健康保険の財政について、財政調整積立金も底をつく状況にある。今後の財政運営は。

市長 医療費抑制対策等を中心とした財政安定化計画を策定し、財政基盤の安定に努力していきたい。また、医療費給付の継続を図るためにも保険税率の改定も避けられないものと認識している。

亀岡 中学校での武道必修化について、武道のなかでも柔道は、事故の発生が多いと言われているが、必修化に向けた対策は。
教育長 本市では柔道を選択している。徹底した事故防止が必要であり、実技研修など実践的な場で指導力の向上に努めてきており、安全確保に全力を挙げるよう指導していく。



柔道の必修化と安全指導

環境対策

環境基本計画の 具現化は

市長／再生可能エネルギーの
基礎調査に取り組み



水戸 眞悟
(絆)

エネルギーへの注目が高まり、環境基本計画の具現化が急務と思うが公共及び農業施設等への具体策は。

市長 本市における再生可能エネルギー導入研究基礎調査に着手する。自然エネルギーを利用した取り組みはそれぞれ施設の特性や機能にあった効果的な方法を検討し進めたい。

水戸 東京公演により、神楽の文化的知名度は格段に向上したと思うが、その課題と今後の展開は。
市長 今回の公演で神楽が全国に誇れる宝だと再認識した。誘客手段などの様々な課題があるが、神楽に対する市民気運の醸成を図りながら、効率かつ効果的な展開を検討する。

水戸 東日本大震災を教訓として、自然



自然エネルギーの活用を

水戸 県教育委員会が公立学校の教職員に成果給制度を導入することに問題点と課題は。
教育長 職員のやる気と成果を適正に評価し、意欲の向上を図るものと認識する。これまで以上に管理職の客観的な観点を持つことが重要となり、制度運用の趣旨を深めていく。

市消防団

詰所の洋式トイレ 水洗化整備等は

市長／整備は2～3年
めどに



前重 昌敬
(絆)

前重 年々消防団員の年齢が高齢になる中、将来を見据えた詰所等の洋式トイレ水洗化の整備が必要では。
市長 詰所は、50箇所あり、トイレ水洗化率は46%である。



整備がまれる消防団詰所



今後は、2～3年目途に整備を進めていく。

前重 女性消防団員の確保が必要と考えるが。

市長 市消防団員の定数は865名、現在男性835名の団員が在籍しており、30名の欠員が生じている。県内には22消防団に405名の女性消防団員が在籍で

あり、他の状況等業務規定等の仕組みを考え、女性消防団員の採用を含めた確保に取り組んでいきたい。

その他の質問

○安芸高田市表彰条例の適用について。

○安芸高田市「讃歌」は。「音頭」が必要で

○姉妹都市提携について

市道

柳原線の改良は

市長／早期完成を目指す



金行 哲昭
(政友会)

金行 自殺者が、全国的にも本市においても、非常に多くなっており、その予防対策が必要と考えるが。

市長 本市も自殺予防対策推進行動計画の策定し、対策にセミナー等にパンフレットを配布していく。

金行 市道柳原線道路改良事業は。

市長 道路改良事業は、幅員5メートルで、数箇所待避所を作り、早期完成を目指したい。

金行 地域主権改革に向かつて、本市も地域主権社会を実現されるには、自主責任の経営能力が必要であり、その考えは。市長 国と地方自治体の関係が上下関係から対等の立場で、これまで以上に法制執行能力や政策形成能力が求められ、職員的能力開発にも力を入れたい。



市道柳原線

地域農業

持続可能な施策展開を

市長／総合的な課題から対策を生み出したい



秋田 雅朝
(政友会)

いと考えている。

秋田 本市の基幹的農業従事者の65歳未満は約二割で、持続可能な農業展開には45歳から65歳未満の更なる就農支援が必要では。

市長 課題として受けとめ検討し、総合的な課題の中から対策を生み出していきたい。



求められる就農支援

秋田 就農者の高齢化対策について「農業を守る」という観点から将来展望に向けた対策についての考えは。

市長 農業従事者の平均年齢は約72歳で、高齢者の方により農業が守られている状況で多様な担い手支援が必要であり、収益向上につながる施策展開を検討していく。

秋田 新規就農対策について幅広い世代の就農支援が必要と思うが。市長 本市独自の「育成支援事業」と国の「新規支援事業」を有効に活用し幅広く充実させていきたい

支所機能

すぐやる課の役割は

市長／合併による不安解消を



青原 敏治

(あきの会)

青原 支所機能について地域格差のない、バランスのとれた施策の実行を願うが、すぐやる課の役割は、**市長** すぐやる課については、市民の皆さんが合併により役場との距離が遠くな



るのではないかと、いう不安を解消するために設置したもので、金額の少ない、緊急性が高く判断の余地がないものについて、すぐやることにしている。

青原 お太助ワゴンの利用状況は、

市長 本年度4月から2月までの間に

いては、1月を除いたすべての月で、1ヶ月の利用者数が3、200人を超え、目標としていた一日の利用者数160人をクリアしている。現在の運行形態で本格運行に取り組み、さらに利便を増すよう、今後、調査・検討をしていきたい。



赤川 三郎

(新政会)

赤川 県道318号上入江吉田線の福原地区未整備区間の整備は。
市長 大事な生活道であるが、現在整備区間でないため厳しいが、県に部分拡幅等検討し積極的に要望していく。

赤川 県道原田吉田線の進捗状況は。

市長 現在、第一期事業として印内集会所前から田川橋まで860メートルの区間の用地補償契約を進めているが早期に工事着手するよう、予算の確保を含め継続して県に働きかける。

主要道路

整備の進捗状況は

市長／積極的推進に努める

赤川 林道入江戸島線整備事業の進捗状況は。

市長 総延長5、017メートル、全幅員4メートルの計画。林野庁の採択を受け、一部改修と舗装工事を完成。

赤川 市道市場宮ノ城線、一本木川本線の山手西交差点に信号機設置を。

市長 公安委員会によると、市内十ヶ所程度要望があり、ハードルは高い。



県道原田吉田線

児玉 国保会計が危機的状況にある中で、税率アップをどのようにお考えか。

市長 被保険者の方々には年々増加する医療費に対して安定的な給付をするためにも一定の負担をお



児玉 史則
(絆)

国保税

税率アップは
どうなるか

市長／増税は避けられない

願いすることは避けられないと考える。

児玉 防災情報のあり方は光導入後の固定端末では、ケーブルの切断や停電、あるいは外出時、防災情報の入手が困難となる。その対策は。

市長 現実の欠点を補う手法として携帯電話の活用も考えていく。

願いすることは避けられないと考える。



児玉 通学路の歩道の未整備地域の把握と整備計画は。

市長 市道に関しては、今一度、関係者と一緒になって、土地関係者の理解が得られるところから点検し対策の検討をする。

入本 高齢者や障がい者の個人情報、災害時には各部署との共有が必要と思うが。

市長 特に援助を必要とする方に緊急時に迅速に対応ができるよう、行政の関係部署や民生児童委員協議会等の関係機関とも、必要な情報の共有を図り、災害に強い福祉のまちづくりにする。

入本 監査委員から指摘で出勤簿の押印の誤りと旅行命令簿の決裁区分等の誤りの対応は。

市長 24年1月から電算システムにおいて処理することにし



入本 和男
(あきの会)

個人情報

各部署との共有を

市長／災害に強いまちづくり

て改善した。

社が登録されていない。今後も引き続き啓発し登録推進を図る。

入本 電算入札システムの運用状況は。

市長 入札資格者70社登録されており26



光ネット

整備にかかる 取り組みは

市長／詳細な協議で調整

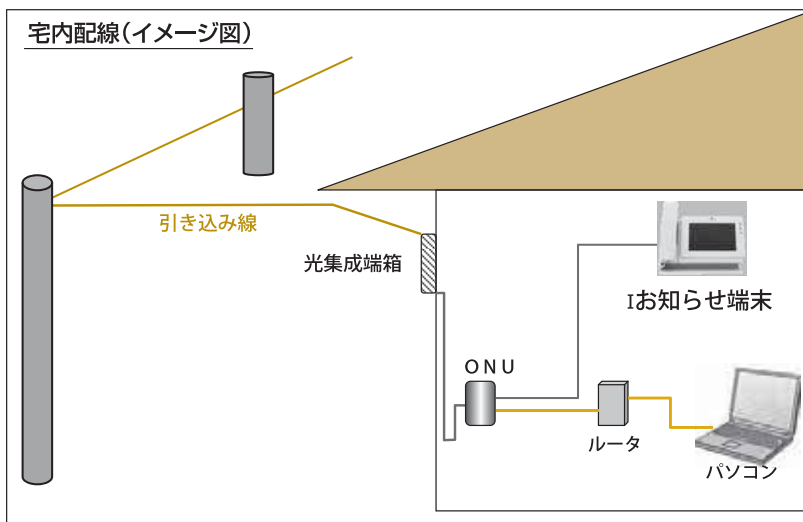


塚本 近 (新政会)

00万円の維持管理費を予定している。

塚本 小学校規模適

塚本 新たな通信網（光ネット）の整備で農協有線との協議内容、提供するサービス料金体系、設備後の保守、維持費は。市長 農事放送、施設の撤去費用等の調整は、今後詳細な協議、調整を図る。サービス内容は、インターネットサービス、行政情報等を伝えるIP告知端末機の設置で市内通話可能、今後サービス内容充実を努める。年間80



光ネットワーク整備

正化について、各種説明会を終えて感想と今後の取り組みは。教育長 児童数が減少する中、教育の充実、施設環境整備の必要性は一定の理解はいただいたと思う。今後は、行政の責任において地域の皆様と協議していく。

武道必修化への 対応は

学習指導要領

教育長／事故のない指導体制



山本 優 (絆)

山本 学習指導要領の改訂により、新しく武道を取り入れることとなったが、選択した理由と対応は。教育長 全中学校とも柔道が学習できる環境づくりをしてきた。柔道は基本が学

習しやすく環境整備がしやすい。指導力を高め、事故の無いよう全力で取り組み。



甲田中学校での授業風景

山本 施政方針でのJFAサッカーアカデミー招致については、財政が厳しく課題があるなかでは、一考を要するのでは。

市長 いろいろな課題があるが、各関係機関と協議を重ねてこのチャンスを生かしたい。招致の話は今だけの話で将来ある話ではない。他の財源もしっかり考えているため理解し応援してほしい。

山本 再生可能エネルギー、自然資源を活用した地域づくり、農業対策についての今後の計画は。市長 経済性、費用対効果など大きな課題があるが調査、研究していき、これからのエネルギーについて前向きに考えていく。

シリーズ(6) 議会改革特別委員会の今後の取り組み

『わかりやすく、開かれた 議会をめざして!』

議会改革特別委員会
委員長 山根温子
副委員長 先川和幸
委員 前重昌敬
石飛慶久
児玉史則
大下正幸

研修報告

2月6日～7日

「議会基本条例の制定」の 有効性を探る!

三重県 ^{かめやま} 亀山市・^{いが} 伊賀市議会への視察

内 容	亀 山 市	伊 賀 市
議会基本条例 (制定までの取り組み)	議会のあり方検討特別委員会を設置し、議会の問題・課題を洗い出し、協議を重ねる。	議会のあり方検討委員会を設置し、市内の83団体、約500人の市民との意見交換を行う。
議会報告会	常任委員会による意見交換は行っているが、議会としての報告会は実施されていない。	議会基本条例並びに報告会実施要綱に基づき実施する。

◎まとめ

平成12年4月の地方分権一括法の施行により、三重県に存する両市は、市民を中心に独自の自治の実現に向け行動された。自治基本条例の制定により、市民参画が積極的に行われた。

そして議会においても、議会基本条例制定に向け、議会内での協議、市民への説明、広聴がしっかりとされ、議会報告会、委員会活動、情報公開のスピード化などの取り組みについて、市民参画に重点を置くとともに、議会の活動（役割や責任）をわかりやすくするものとなっていた。



3月23日

議員研修会を開催!

【研修内容】

講 師 広島修道大学 学長
市川 太一 氏

演 題 「議員・議会改革と議会基本条例」

目 的 本市の必要な議会改革を推進するための研修会



議会広報特別委員会

2月1日、2日の両日、議会広報特別委員会の先進地視察研修を実施しました。

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 穴戸邦夫 |
| 副委員長 | 石飛慶久 |
| 委員 | 前重昌敬 |
| | 水戸眞悟 |
| | 山本優 |
| | 亀岡等 |

研修報告

2月1日～2日

わかりやすい広報誌をめざして！

高知県 ^{こうなん}香南市・^{おち}越知町議会に学ぶ

- 研修内容
- | | |
|-------------|--------------|
| (1) 議会だより | ・構成、編集の取り組み |
| (2) 議会広報委員会 | ・活動状況、委員研修など |

	香 南 市	越 知 町	安 芸 高 田 市
編集方針・委員構成	読む人の側に立った編集姿勢に心がけ、議会活動全般を公正に捉える。 11人 (議員定数 22人)	「議事の公開の原則」を主に、議会の独自性・主体性を維持し簡潔にまとめる。 5人 (議員定数 12人)	市広報との違いを明確にし、議事の内容を具体的対象を考えて作成する。 6人 (議員定数 20人)

◎ 議会だより発行にあたっての共通点

- ・ 難しい「お役所用語」はなるべく避け、平易な日常用語で表現している。
- ・ 上から目線ではなく、文体をやさしくするために「です、ます調」の敬語調を心がけている。ただし、一般質問、質疑、討論は、議会の緊張感を出すため「である調」としている。
- ・ 写真をできるだけ挿入し、技法に特に力を入れている。

◎ 研修で得たもの

常に読む人の側に立った編集姿勢を心がけ、一般質問の追跡記事や地域の身近な話題や市民参加欄など企画し、より多くの市民に親しんでもらえる紙面づくりに努めたい。

24年度の目標

ごみ処理基本計画

- ①ごみ排出量の削減
24年度目標値
11、500トン
23年度目標値
11、619トン
- ②再生利用の向上
リサイクル率
24年度目標値
30%
23年度目標値
30%
- ③最終処分量の削減
埋め立て処分量
24年度目標値
161トン
23年度目標値
179トン

組合議会議員

藤井昌之
入本和男
青原敏治
秋田雅朝
前川正昭

24年3月27日、芸北広域環境施設組合議会の24年第1回議会定例会が北広島町で開催され、24年度歳入歳出予算総額それぞれ5億6、449万円を認定しました。

△主な歳入△

- 負担金
 - ・安芸高田市 2億3、837万円
 - ・北広島町 1億3、144万円
- 交付税 1、502万円
- 使用料・手数料 1億613万円
- ごみ処理手数料 1億573万円

△主な歳出△

- 総務管理費 8、161万円
- ごみ処理費 4億7、734万円
- 借入返済額 202万円

23年度補正予算額 53万4千円

24年1月4日に組合塵芥収集運搬車が交差点で右折するとき、後続の相手が追い越しをかけ衝突した。

△示談内容△

- ・事故の責任割合は組合10%・相手側90%とする。
- ・損害金額については、「公有自動車損害賠償共済金」で対応した。

△今後の運搬車の指導△

収集員全員を集めて事故の内容、どうして事故になったか、事項防止について指導し、委託会社の方でもミーティングをさせている。

東日本

大震災災害廃棄物は



東日本大震災により災害廃棄物のごみの受け入れについての現状は次のとおりです。

①検討状況

現在の段階では、処理の方法・処理の安全性が確保できる基準が明確に示されおらず、また、破碎処理後の残渣(ごんさ)について、取引業者とのこともあり、今後、地元同意のもと、県、関係市町、関係機関との連携協議を重ね対応したいと考えている。

②受け入れが想定される廃棄物

家電製品類(家電リサイクル法対象外の家電製品類)

③処理施設名

芸北広域きれいセンター(破碎)

④1日当たり受入処理可能量

2トン

⑤年間最大受入可能量

350トン

⑥技術的課題等

一回の搬入量は4トンとする。

葬斎場建設に向けて ～工事請負契約の締結～

可決

第1回臨時会

4月20日、24年第1回臨時会を開催し、教育委員会委員の任命同意、葬斎場建設工事請負契約締結などを審議し、すべて原案のとおり可決しました。

同意

教育委員会委員
上田隆之 さん (吉田町吉田)
永井初男 さん (美土里町北)

葬斎場建設工事

契約の目的	葬斎場建築本体工事	葬斎場機械設備工事	葬斎場火葬炉設備工事
契約の方法	事後審査型一般競争入札		随意契約
契約の金額	594,300,000円	186,847,500円	189,000,000円
契約の相手方	広島県広島市 (株)増岡組 広島本店	広島県安芸高田市 (株)中電工 安芸高田営業所	富山県富山市 (株)宮本工業所

質疑

金行 工事請負契約の締結が遅れているが、工期は守れるのか。

竹本企画振興部長

来年の4月1日から供用開始できるように努力する。

熊高 工事全体の工程管理の調整は。

竹本企画振興部長

行政が主導的に管理し、全体の調整を(株)あい設計が行う。行政、(株)あい設計、施工業者の連携会議等、定期的に行い工程調整を図る。

新議員の紹介

熊高 昌三 議員



公平でバランスのとれたまちづくりをめざします。そして、みなさんの思いをカタチにします。

(産業建設常任委員会に所属)



24年1月～3月の報告

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
1	6	金	議会広報特別委員会	議会だより第32号の編集について
	16	月	議会改革特別委員会 議会広報特別委員会	議会改革の取り組みについて 議会だより第32号の編集・校正について
	19	木	議会広報特別委員会	議会だより第32号の校正について
	20	金	全員協議会 議会運営委員会	市長報告、議長報告等 24年第1回定例会の運営について
	25	水	議会広報特別委員会	議会だより第32号の校正について
	30	月	総務企画常任委員会	市長報告、所管事務調査
	31	火	文教厚生常任委員会	市内中学校訪問（6校）
2	1～2		議会広報特別委員会視察研修	高知県香南市議会、高知県越知町議会
	6～7		議会改革特別委員会視察研修	三重県亀山市議会、三重県伊賀市議会
	9	木	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
	10	金	葬斎場建設調査特別委員会	葬斎場用地造成工事の進捗状況等について
	15	水	議会運営委員会	24年第1回定例会の運営について
	22	水	第1回定例会（開会）	議案の上程、委員会付託
	23	木	予算常任委員会 全員協議会	付託議案審査12件（一般会計補正予算等） 市長報告、議長報告等
	24	金	第1回定例会（一般質問等）	補正予算の採決、質問者7人
	27	月	第1回定例会（一般質問）	質問者7人
	28	火	議会改革特別委員会	議会改革の取り組みについて
29	水	総務企画常任委員会	付託議案審査3件、所管事務調査等	
3	2	金	文教厚生常任委員会	付託議案審査2件、所管事務調査等
	5	月	産業建設常任委員会	付託議案審査1件、陳情・要望審査2件
	6～8		予算常任委員会	付託議案審査13件（24年度会計予算審査）
	12	月	議会運営委員会	24年第1回定例会の運営について
	14	水	第1回定例会（閉会） 全員協議会	委員長報告、議案の採決 市長報告、議長報告等
	23	金	議員研修会	講演、講師との意見交換

■24年第2回定例会は6月に、開催を予定しています。

※ 詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせいたします。

地域のかがやき

吉田 郡山公園ぼんぼり飾り (3月20日)



吉田地区振興会

八千代 桜守プロジェクト (ボランティア活動)



土師ダム湖畔 3月11日

美土里 防火訓練



西尾山八幡神社

高宮 さくらんぼ受粉作業



甲田 人気高まるKOD



第11回 甲田町芸術祭 3月25日

向原 春の彩り



かたくりまつり 3月31日～4月15日

編集後記

平成24年度がスタートしました。議会だより29号では土師ダム湖畔でのBMX大会、30号では夏場の高宮ウオータースライダー、31号では吉田サッカー公園での少年サッカー交流会、32号では江の川河川敷での空手道寒稽古と子どもたちがのびのびと躍動する姿を掲載してきました。そして今回33号は、桜花爛漫の季節、子ども神楽の公演状況としました。

市民の皆さんの記憶に新しい、春の選抜高校野球大会での選手宣誓「日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう、日本の底力、絆を。」まさに、安芸高田市の子どもたちも全力で届けてます、見せてます、挑んでいます。10年後、20年後、安芸高田市を背負ってくれるこの子たちの世代へエールを贈りたいと思います。「人 輝く 安芸高田」の子どもたちへ。
(前重 昌敬)

△発行責任者▽

議長 藤井 昌之
△議会広報特別委員会▽

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 石飛 慶久
委員 前重 昌敬
委員 水戸 眞悟
委員 山本 優等

委員 亀岡 等